

## 読売新聞 きょう（11月24日）のイチ押し

### 1面・社会面など 日本、ドイツ撃破 サッカーW杯

サッカー・ワールドカップ（W杯）カタール大会で、日本はグループリーグの初戦でドイツと対戦し、2－1で逆転勝ちしました。

- ★ 前半にペナルティーキックで先制されたものの、後半に途中出場の堂安、浅野両選手がゴールを決めました。後半の開始から守備陣形を修正し、途中から攻撃的な選手を次々に投入した森保監督の交代策が見事に当たりました。
- ★ ドイツは西ドイツ時代も含めW杯優勝4度の強豪で、今大会でも優勝候補の一角に挙げられています。日本はこれまで勝ったことがありませんでしたが、W杯の本番で歴史的勝利をものにしました。
- ★ グループリーグE組に属する日本は27日午後7時（日本時間）からコスタリカと対戦します。この第2戦で勝利すれば、決勝トーナメント進出へ大きく前進します。

### 1面 東京臨海部に新地下鉄 40年代前半開業

東京都が都心と臨海部を結ぶ地下鉄新線の事業化に着手します。開業は2040年代前半の見通しで、小池百合子知事が近く計画を公表する予定です。本紙の特ダネです。

- ★ 始発は首都の玄関口である東京駅とし、銀座や築地、豊洲などを経由して有明まで全7駅を新設します。東京駅を起点とするため、新幹線などの広域鉄道網との乗り継ぎが容易になることが期待されます。
- ★ 羽田空港から臨海部へ至るJR線と接続する計画もあります。都は、東京五輪・パラリンピックを機に開発が進む臨海部の利便性を高め、国際ビジネス都市としての発展を目指す意向です。

#### 他紙と比べて

東京のNPO法人が仲介した途上国での生体腎移植で、臓器売買が行われた疑いのあることが今年8月、本紙の取材で判明しました。金銭を払って臓器提供を受ける行為は、人間の尊厳を踏みにじるとして国際的に批判されています。問題の背景と対策について、解説面（11面）の論点スペシャルで3人の専門家に聞いています。